

令和5年3月3日

印西市教育委員会教育長 様

印西市立小林中学校
校長 白井 昌章

令和4年度学校評価及び学校関係者評価の報告について

学校教育法42条・43条及び学校教育法施行規則66条・67条・68条の規定により、下記のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

記

1 学校評価アンケートの実施

- (1) 保護者による学校評価アンケート（別紙参照）
- (2) 生徒による学校評価アンケート（別紙参照）
- (3) 教職員による学校評価アンケート

2 学校評価の公表

- (1) 学校便りを通じて全家庭に成果と課題を配付
- (2) ホームページに掲載
- (3) 学校関係者評価委員会で結果を報告し説明

3 学校評価委員会議

○3月2日（木）上記資料をもとに、4名の学校評価委員とともに実施した。

- (1) 参加者（学校評価委員4名，校長，教頭）

・小林中学校第3代校長	澤口 正 氏
・小林住みよいまちづくり会理事長	高橋 誠 氏
・社会福祉協議会小林地区理事	吉田 恭子 氏
・青少年相談委員小林地区長	伊東 章 氏
- (2) 会議の内容
 - ・本年度の学校の活動について
 - ・3年生の進路状況について
 - ・令和4年度学校評価アンケートについて
 - ・意見交換・その他

4 その他

アンケート結果及び会議の内容についての別紙にて添付いたします。

令和4年度学校評価（自己評価）の報告

印西市立小林中学校

1 アンケート結果

(1) 生徒アンケート結果

- ・数字は「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」と肯定的な回答の%
- ・矢印は昨年度の結果との比較、3%以内の増減は「-」のマークで表記

(回収率：89%)

No	評価項目	%	
1	あなたは、学校のめあてや目標を知っていますか。	97	↑
2	あなたは、進んで学習に取り組んでいますか。	82	↑
3	授業はわかりやすいですか。	93	↑
4	あなたは、家庭で宿題や課題等、家庭学習に取り組んでいますか。	81	↑
5	あなたは、友達を大切にしていますか。	97	-
6	あなたは、自他の命を大切にし、感謝の気持ちを持って生活していますか。	99	↑
7	あなたは、健康に気を付けて生活していますか。	87	↑
8	先生方は、あなたの良さや頑張りを認めてくれていますか。	96	↑
9	先生方は、いじめがあったとき、よく話を聞いて対応してくれていると思いますか。	93	↑
10	学習や生活で困ったことがあった時、先生方はすぐに話を聞いて対応してくれていると思いますか。	95	↑
11	あなたは、事故にあわないように気を付けて生活していますか。	99	↑
12	学校の施設・設備は整っていると思いますか。	88	↑
13	保護者や地域の方々が行う活動は充実していますか。	77	↑

〈成果と課題〉

- ほとんどの項目で肯定的な結果となった。特に、昨年度の課題の1つであった学習面で大幅な改善が見られた。特に、各学年で、放課後の学習機会を設けたりワークマスター等の取り組みを行ったりして、項目4の肯定的回答が大幅に上昇した。また、項目8～10の教師の対応については、普段から生徒とのコミュニケーションを大切に、家庭との連携や教育相談の充実に取り組んだことで良い結果になった。
- 学習面では、今後とも主体的に取り組む学習ができるよう、学習意欲の喚起とそのためへの指導方法の工夫・改善を図る。特に、ICT機器の活用を充実させる。また、健康面では、感染症防止対策を継続しつつ、充実した学校生活を送れるよう手立てを講じていく。項目6に関しては、大変良い回答だったので、家庭との連携や教育相談の充実を継続する。

(2) 保護者アンケート結果

- ・数字は「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」と肯定的な回答の%
- ・矢印は昨年度の結果との比較、3%以内の増減は「-」のマークで表記

(回収率：71%)

No	評価項目	%	
1	あなたは、学校の教育方針や教育目標をご存じですか。	63	↑
2	お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいると思いますか。	69	↑
3	お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	57	↑
4	お子さんは、家庭で宿題や課題等、家庭学習に取り組んでいますか。	73	↑
5	お子さんは、友達を大切にしていると思いますか。	97	↑
6	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実を努めていると思いますか。	72	↑
7	お子さんは、健康に気を付けて生活していると思いますか。	77	↑
8	学校は、一人ひとりの子供を大切にされた指導や対応ができていると思いますか。	77	↑

9	学校では、いじめがあったとき、すぐ話を聞いて対応してくれていると思いますか。	6 6	↓
1 0	学習や生活で困ったことがあった時、先生方はすぐに話を聞いて対応していますか。	8 0	—
1 1	学校は、子供の事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	8 2	↑
1 2	学校の施設・設備は整っていると思いますか。	6 5	↓
1 3	学校は、市や地域の環境・施設・人材を教育活動に活かしていると思いますか。	6 1	—

〈成果と課題〉

- 保護者の方からも全体的に肯定的な評価であった。特に、項目1～7において、昨年度より大きく上回る結果となった。学習面に対する本校の取り組みが保護者にも伝わった成果が出ていると考える。授業のわかりやすさについては生徒アンケートとの間に差がある。今後も指導方法の研修に努める。
- 項目9が昨年度より数値が下がっていたのが課題である。これまで以上に、きめ細かな指導、教育相談の充実、アンケートの実施等を通し、家庭と連携しながら、生徒指導の充実に努めていく所存である。ただし、「わからない」の回答が21%あった。保護者が実際にいじめを認知していないので、学校がどう対応しているのはわからずに回答できていないと考えられる。いじめはその学校でも必ず起こるものとして、常に組織的に対応できるようにしていく。また、指導方法の工夫やICT機器の活用、指導技術に関する研修を深め、生徒の学力向上に向けて今後も取り組んでいく。

2 自己評価から

教員による自己評価を実施した。主な評価は概ね以下のとおりである。

- (1) 学習指導では、家庭学習の習慣化が意識は高まっているが、定着が弱いことが課題である。ただ、提出物について強い指導を行うと、生徒が対応できない状況があったので、生徒の状況や発達段階に応じた支援や指導を工夫する。また、ICT機器をさらに活用し、効果的な授業実践を図り、学力向上に努めていきたい。
- (2) 生徒指導では、学校生活アンケートやいじめアンケート、教育相談等を活用できたので、いじめについて初期対応ができた。昨年以上に職員間で情報交換を密にし、共通理解を図ることができた。今後も、生徒の表情を確認しながら、生徒との良好な人間関係を築けるよう取り組んでいく。
- (3) 特別支援教育では、個別の教育支援計画及び個別の指導計画をもとに、保護者と合意形成を図りながら進めることができた。また、校外学習や小中連携事業等、生徒の交流や活動機会が増え、生徒の大きな成長が見られた。
- (4) 安全教育については、避難訓練の実施等、安全な生活を啓発してきた。また、年々増えていく自然災害への対応、新型コロナウイルス感染症、不審者対応のマニュアルの改善を図った。施設の修繕や故障等、市教育委員会と連携して素早く対応できた。施設の老朽化、震災後の施設のゆがみや傾きが今後も心配である。
- (5) 新型コロナウイルス感染症防止対策はその時の状況に合わせて、適切な対応をすることができた。また、発達段階に応じ、市教育委員会と連携して健康や性教育等の保健指導の充実に努めることができた。

3 学校評価委員会議から（3月2日実施）

（1）参加者（学校評価委員4名、校長、教頭）

- ・小林中学校第3代校長 澤口 正 氏
- ・小林住みよいまちづくり会理事長 高橋 誠 氏
- ・社会福祉協議会小林地区理事 吉田 恭子 氏
- ・青少年相談委員小林地区長 伊東 章 氏（欠席）

（2）会議の内容

- ①本年度の本校活動について
- ②3年生の進路状況について
- ③学校評価アンケートについて
- ④意見交換

<主な意見>

- ・タブレット使用にあたっての良かった点と問題点について。
（生徒の視点・教職員の視点）
- ・タブレットPCやスマホを持つようになり、デジタル的な思考が広まっている。（0か1か）今後、アナログ的な思考も育成していかなければいけないと感じる。（色々な意見や考えがあって良い）
- ・今回、生徒・保護者ともに回収率が下がった理由は何か。
- ・保護者からのクレーム等はなかったか。
- ・今回の結果は、先生方のがんばりのおかげだと考える。また、地域や家庭での協力があったることだと思う。
- ・小林地区は地域の学校として小林中を高く評価している。昔から住んでいる人と新しく住み始めた人が上手に融合している地区である。今後も、地域や保護者と連携して小林中学校のために活動できると良い。

【学校運営について】

- ・マスクをとっての卒業式はより感動あるものになるでしょう。
- ・一時期の小林中は元気がなかった。最近ではあいさつもしてくれるし、予餞会の表情も大変明るかった。
- ・予餞会の合唱が大変良かった。コロナ禍の中でここまでよく歌うことができた。
- ・寸劇の主人公のためにも、ピンマイクを用意してはいかがか。
- ・保護司を16年間行っている。傾向として、発達障害のある子どもが増加傾向にある。小林中学校の現状はどのようなものか。
- ・ジェンダーに関する取り組みについて。
- ・不登校の問題は根深い。「びおねろの森」等のフリースクールや市の適応指導教師など、選択肢が増えてきたが、横のネットワークのつながりが大切である。

4 次年度に向けて

本年度の学校評価アンケートの結果及び学校評価委員会議で出された意見を基に、学習指導・生徒指導・特別支援教育・安全・保健・学校行事等の課題を明確にし、次年度に向けて改善していく。